芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報

学籍番号	AH22001
氏名	冨賀勇紀
学部	工学部
学科（コース等）	土木工学科
学年（渡航開始時）	学部4年

留学先情報

渡航型/オンライン型	渡航型
プログラムタイプ	研究室配属型
国・地域名	タイ
都市名	バンコク
留学先大学名	カセサート大学
留学期間	半年~1年(2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期（2021年9月上旬等）：2025年4月下旬　プログラム終了時期（2021年9月上旬等）：2025年12月下旬
留学時期（主に留学をしていた時期にチェックをお願いします）	4年前期~4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	これまでに、グローバルPBLで何度もカセサート大学を訪問した経験があり、受入先の指導教員であるSupakij先生とつながりがあったため。 また、地盤工学で有名な先生がたくさんいる環境であったため。
（研究室配属型のみご回答ください）受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。（SIT指導教員の紹介等）	研究室の先生のつながり。特に、研究室の先生が主催するグローバルPBLで受入大学の指導教員と関係を構築した。

留学中の学籍について

休学の有無	休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。（留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等）	学部3年生が終了した段階で、卒業研究以外のすべての科目が卒業要件を満たすことができた上で指導教員の許可も得られたため。また、大学院への進学が確定しており、就職活動に追われることもなかったため。

留学先での学習・研究状況

留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	受入先の指導教員から与えられた研究テーマに基づいて研究した。 研究は現場見学や実験室での実験が主であった。 これらの活動は共同研究者である、現地の修士課程の学生と一緒に進めた。 帰国前には最終発表、さらに11月には京都で行われたGEOMATEでプレゼンテーションを行った。 また、定期的にタイ国内で行われる学会にも同行させていただいた。

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

現地の大学の卓球クラブに週2.3日のペースで参加させていただいた。
また、定期的に現地の卓球大会にもその延長で参加させてもらった。
また、国際学生寮に期間中は滞在し、タイ人に限らず様々な国籍の友人をつくることができた。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
（当初の留学計画を達成でいたか、新た発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）

留学前、現在の指導教員である稲積先生が実施しているグローバルPBLに参加した経験を通じて、タイの地盤工学や文化に興味を持ったことが、研究室型の交換留学に挑戦する大きなきっかけとなった。
留学が始まった当初は、慣れない一人暮らしや新しい環境での生活に不安を感じ、不安定な時期を過ごした。
しかし、時間の経過とともに徐々に環境に慣れ、現地で多くの友人をつくることができ、充実した時間を過ごすようになった。
また、受入先の指導教員であるSupakij先生は、研究活動のみならず私生活においても卓球大会や旅行に連れて行ってくれるなど、親身にサポートしてくださり、その点でも非常に恵まれた留学生活であった。
研究活動では、普段使用しない専門用語が多く、英語も含めて事前にできる限り準備をしておくべきだったと感じている。
タイでの生活を通して、タイは非常にのんびりとした国であることを実感した。
日本では時に生きづらさを感じることがある自分にとって、タイはとても過ごしやすい環境であった。
今後は時間を作り、修士課程においても本研究テーマをさらに深く学び、再び留学にも挑戦したいと考えている。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）

タイの文化も影響していると考えられるが、想像以上に、受入先の大学がメールへの返信が遅かったり、手続きがスムーズにいかなかったので、余裕をもって準備・手続きを開始することが重要だと感じた。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

初回のビザ申請は日本でオンラインで行えたためとても簡単にスムーズに手続きが完了した。
しかし、現地でビザを延長する場合や90日ごとの居住地申告手続きを行う場合には、現地のImmigrationに行かなければならなかった。
Immigrationは、混雑がひどいので早朝から順番待ちするなど対策が必須。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

- 宿泊先のタイプを教えてください。
（協定校の寮、一般のｱﾊﾟｰﾄ、ﾎｰﾑｽﾃｨ等）

協定校の寮

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?
（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）

受入先の指導教員に用意していただいた

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか?
交通手段や所要時間を教えてください。

現地学生の送迎

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。

学内バスとバイクタクシー（寮から工学部まで10分程度）

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

部屋は、2人用で希望に応じてルームシェアが可能。
1階は居住者の共同スペースになっており、キッチン、コインランドリー、学習スペース、フリースペースがあり、様々な人たちと交流ができる環境が整っている。

留学中の費用や奨学金等　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額（円換算概算）	概要
協定校へ支払った費用 （授業料、初期登録費用等あれば）	¥11,000	学生寮の初期費用+SIMカード
往復航空券代（往復）	¥100,000	
海外旅行保険・危機管理費用 （全期間分）	¥150,000	海外旅行保険
その他費用（ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等）	¥20,000	初期ビザ＋ビザ延長
計	¥281,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥35,000	
食費/月	¥37,000	
その他/月	¥18,000	日常の移動費＋旅行・娯楽
計	¥90,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥90,000	
計	¥90,000	

写真共有のお願い　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

カセサート大学工学部の建物

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

Krissana International Dormitory

その他、任意の写真



説明文

ナコンシータマラート県で開催された卓球大会

その他、任意の写真



説明文

地盤工学のメンバー

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。